

JR只見線を活用した観光施策

大学 (成果報告書作成者)	会津大学短期大学部 産業情報学科 木谷ゼミナール
自治体	柳津町 地域振興課 観光商工係 三島町 地域政策課 金山町 商工観光課 商工観光係
その他関係者	
(1)調査研究の 課題・背景	2022年10月1日に只見線が全線で運転を再開した。只見線全線再開を観光を通して地域経済の活性化につなげるためにどのような観光施策が必要かを検討することが、本研究の目的である。
(2)令和5年度 調査研究活動内 容	上記の研究課題に対し、以下の2つの調査を実施した。 ①観光客の実態調査：この地域を訪れる観光客の実態や何に満足・不満を感じているのかを明らかにするため実施した。 ②商工業者向け実態調査：地域の商工業者は只見線全線再開によりどのような影響を受け、今後どのような展望を持っているのかを明らかにするため実施した。 これらの調査や現地視察を踏まえて現在の強みや弱み、課題を整理し、必要な観光施策を検討した。
(3)令和5年度 時点の結果	今年度の取組により、この地域が持つ観光における強みや弱みが明らかになった。また、それらを整理することで必要な観光施策を検討し、いくつかの施策を提案した。
(4)提言または 今後の展開	観光客に対するアンケートはまだ分析の余地があるため、引き続き分析を進める。また、施策のさらなる検討に向け、今後は以下の点を研究する必要があると考える。 ①外国人観光客の動向の把握：今年度は日本人観光客を対象として調査を行った。今後は、観光の牽引役として有望な外国人観光客の現状や嗜好についても調査するべきである。 ②効果的な情報発信方法の研究：特に外国人観光客へのPRのために、アクセス解析などを通じて、情報が適切に届いているかを分析する必要がある。